

日本生化学会 東北支部  
第 85 回例会・シンポジウム  
プログラム・講演要旨集

主催：日本生化学会

令和元年 6 月 8 日（土）～9 日（日）

東北大学星陵キャンパス

星陵会館・星陵オーディトリウム

日本生化学会東北支部 第85回例会・シンポジウム実行委員会

世話人：本橋 ほづみ（東北大学加齢医学研究所 教授）

実行委員：関根 弘樹（東北大学加齢医学研究所 助教）

北村 大志（東北大学加齢医学研究所 助教）

松丸 大輔（東北大学加齢医学研究所 助教）

財務担当：今野 素子（東北大学加齢医学研究所）

協賛企業

株式会社レイテストサイエンス

ナカライテスク株式会社

株式会社セイミ

東北化学薬品株式会社

有限会社熊谷重安商店

## 講演者、発表者、参加者の皆様へのご案内

◆ 受付開始：6月8日（土）8：00～

6月9日（日）8：30～

（東北大学星陵キャンパス 星陵オーデトリウム2階 講堂前）

◆ 参加される方は、会場での名札着用をお願いします。名札とネームホルダーは、当日受付にてお受け取りください。

◆ 6月8日（土）のお昼に軽食（サンドウィッチと飲み物）を用意します。

◆ 一般口頭発表の方へ

1. 一般口頭発表は、講演時間が12分、討論時間は3分です。スケジュールがタイトですので、発表時間の厳守をお願いします。
2. 発表者の方は、各自PCをご持参ください。プロジェクターにはVGA端子(D-Sub15端子)を介して接続します。Macや一部のコンピューターでは接続用のコネクタが必要となりますので、忘れずにお持ちくださるようお願いいたします。
3. 各セッションの始まる前までに、PCを会場前方のスライド係にお渡しください。簡単な試写をさせていただきます。

◆ 座長の方は、担当セッション開始の10分前までに会場にお越しください。

◆ ポスター発表の方へ

1. ポスター会場は、星陵オーデトリウム1階エントランスホールです。
2. ポスター発表は6月8日（土）12：15～14：00が討論時間です。ポスターの前で自由討論をお願いします。
3. ポスターは6月8日（土）10：45までに所定の位置に掲示してください。ポスターの撤去は6月8日（土）懇親会終了後、または6月9日（日）10：45までをお願いします。時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局で撤去します。
4. ポスターのサイズは、縦150cm×横110cm以内です。

◆ 評議員会に出席される方へ

評議員会は、6月8日（土）12：30～13：15に東北大学加齢医学研究所 実験研究棟7階 セミナー室（1）で開催します。当日はスタッフが誘導します。

出席される方には、お弁当を用意します。

◆ 懇親会に参加される方へ

懇親会は、6月8日（土）18：00～19：15（中締め）、星陵会館1階 食堂ホールで開催します。

懇親会費は、一般6,000円、大学院生・学部学生 無料です。

会費は受付時にお支払ください。領収書を発行します。

## 会場案内

### 星陵地区へのアクセス（仙台駅から）

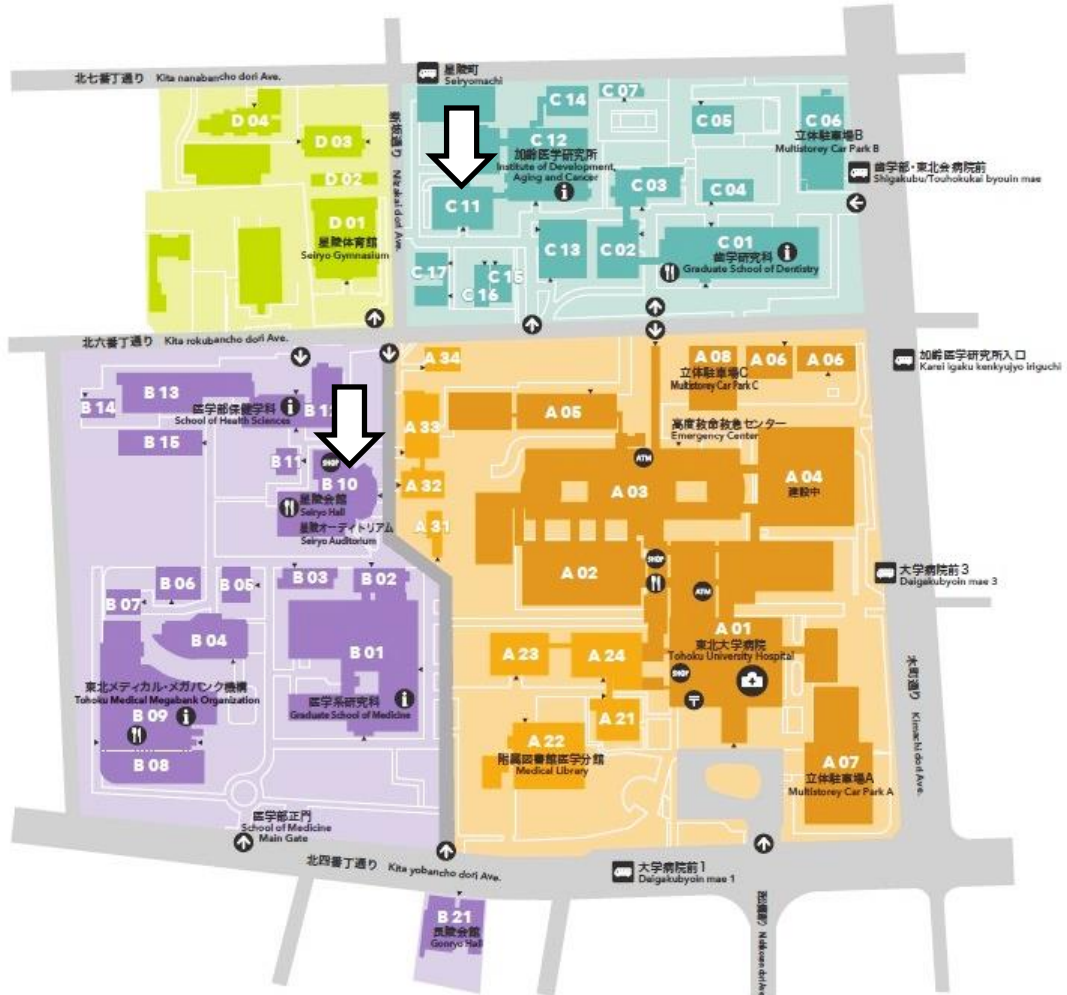


- ・ 仙台市営バスを利用する場合  
JR 仙台駅西口バスプール発（9、10 番のりば）  
「東北大学病院・八幡町経由」乗車、「東北大学病院前」下車。（約 20 分、180 円）
- ・ 仙台市営地下鉄を利用する場合  
地下鉄南北線泉中央方面行きに乗車「北四番丁駅」にて下車（約 5 分、200 円）  
北 2 出口より、山形方面へ徒歩 15 分
- ・ タクシーを利用する場合  
JR 仙台駅西口タクシープールより「東北大学医学部・星陵地区」で到着  
約 10 分、1,300 円前後

※ 各所要時間は交通状況により異なります。



# 東北大学 星陵キャンパス TOHOKU UNIVERSITY Seiryō Campus



例会・シンポジウム、懇親会：B10 星陵会館、星陵オーディトリウム

(〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1)

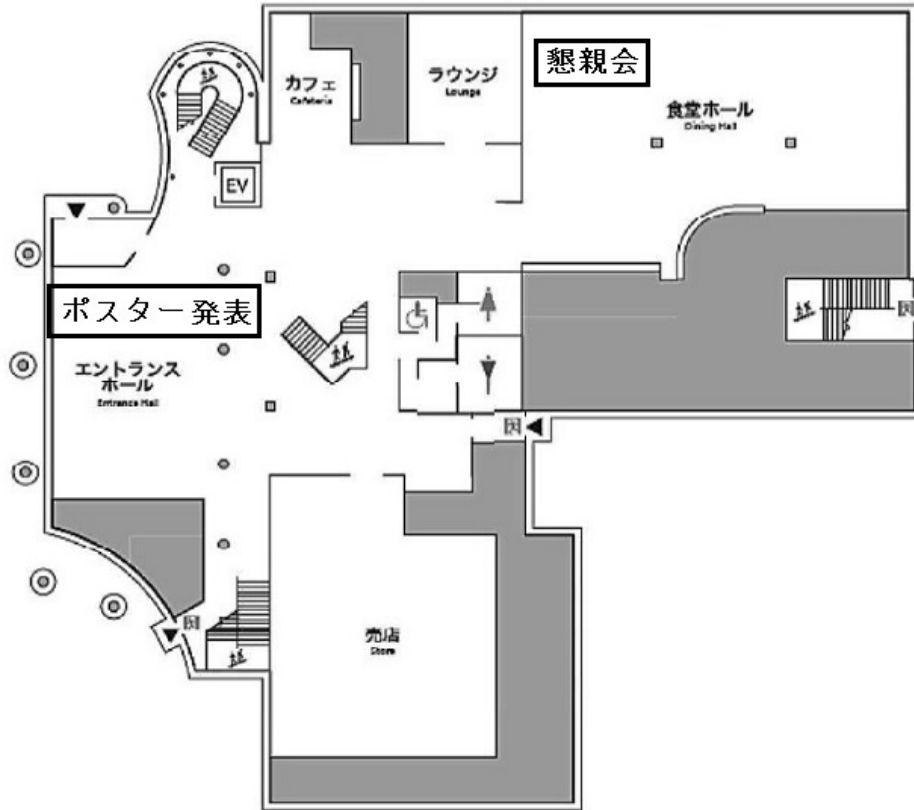
評議員会：C11 加齢医学研究所 実験研究棟 7階 セミナー室 (1)

(〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1)

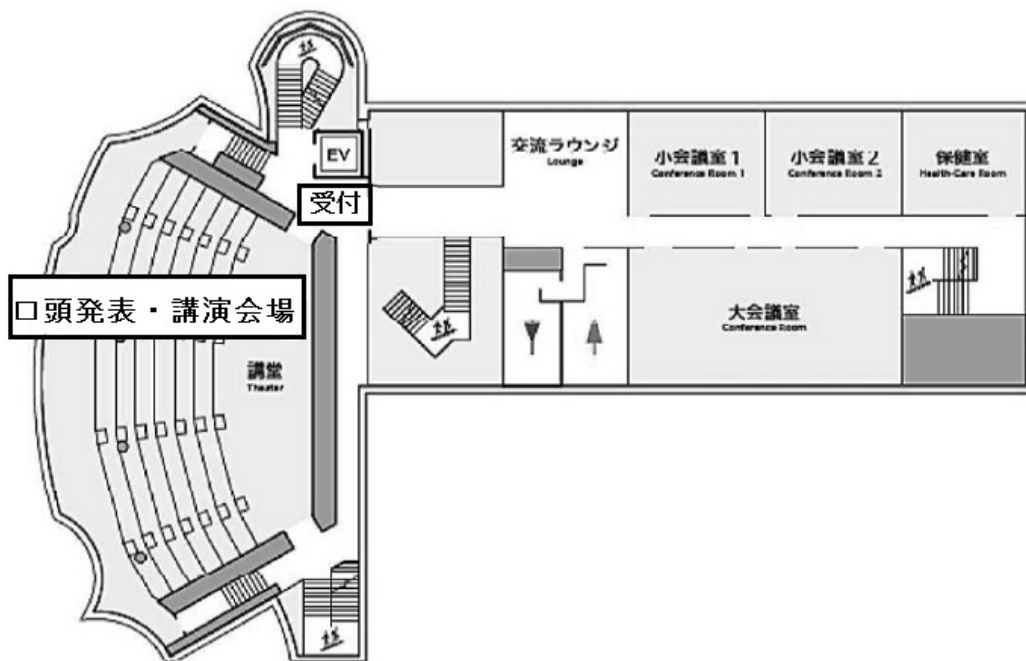


# 星陵会館、星陵オーデトリウム

(1F)



(2F)



## 例会・シンポジウム プログラム

6月8日(土)

8:50~9:00 開会の挨拶

世話人：本橋 ほづみ (東北大学 加齢医学研究所)

9:00~10:30 セッション1

座長：久下 周左 (東北医科薬科大学 薬学部)

### O-1. Structure aided molecular design of staphylococcal pore-forming toxin

○Nouran Ghanem<sup>1</sup>, Natsuki Kanagami<sup>1</sup>, Kein Takeda<sup>2</sup>, Takashi Matsui<sup>3</sup>, Tomohisa Ogawa<sup>1</sup>, Jun Kaneko<sup>2</sup>, Yoshikazu Tanaka<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Graduate School of Life Sciences, Tohoku University, <sup>2</sup>Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, <sup>3</sup>Kitasato University

### O-2. 蛋白質結晶中の空隙へのゲスト蛋白質包摂手法の開発

○橋本翼<sup>1</sup>、松井崇<sup>2</sup>、小川智久<sup>1</sup>、田中良和<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学大学院生命科学研究科、<sup>2</sup>北里大学大学院理学研究科

### O-3. 転写制御及び抗体遺伝子多様化におけるヒストンバリエント H2A.Z アセチル化修飾の寄与

○伊藤汰凱<sup>1</sup>、高橋大輔<sup>1</sup>、日下部将之<sup>2</sup>、原田昌彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院農学研究科、<sup>2</sup>神戸大学 バイオシグナル総合研究センター

### O-4. ヒストン H3.3 のヒストンシャペロン HIRA 複合体の機能活性には HIRA の三量体形成が必須である

○佐藤 優花里<sup>1</sup>、千田 俊哉<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院生命科学研究科、<sup>2</sup>高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 構造生物学研究センター

### O-5. tRNA エンドヌクレアーゼ Vms1 による新生ポリペプチド鎖の品質管理とミトコンドリア恒常性の維持機構

○井澤俊明<sup>1,3,4</sup>、Ting Su<sup>4</sup>、Sae-Hun Park<sup>3</sup>、Matthias Thoms<sup>4</sup>、山下由衣<sup>2,4</sup>、Jingdong Cheng<sup>4</sup>、Otto Berninghausen<sup>4</sup>、F. Ulrich Hartl<sup>3</sup>、稲田利文<sup>1</sup>、Walter Neupert<sup>3,4</sup>、Roland Beckmann<sup>4</sup>

<sup>1</sup>東北大学大学院薬学研究科、<sup>2</sup>北海道大学大学院農学研究科、

<sup>3</sup>Max-Planck-Institute of Biochemistry、<sup>4</sup>University of Munich



#### O-6. 3'UTRにおける新規翻訳開始機構の解析

○信田理沙<sup>1</sup>、佐藤光紗希<sup>1</sup>、橋本怜史<sup>1</sup>、鳥海靖人<sup>1</sup>、須藤大貴<sup>1</sup>、町田幸大<sup>2</sup>、  
今高寛晃<sup>2</sup>、稲田利文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院薬学研究科、<sup>2</sup>兵庫県立大学 大学院工学研究科

10:30~10:45 コーヒーブレイク

10:45~12:15 セッション2

座長：森口 尚（東北医科薬科大学 医学部）

#### O-7. 小胞体ストレス応答におけるリボソームユビキチン化の新規機能

○松木泰子<sup>1</sup>、松尾芳隆<sup>1</sup>、岩崎信太郎<sup>2,5</sup>、横尾秀幸<sup>1</sup>、中野裕<sup>1</sup>、宇田川剛<sup>1</sup>、  
佐伯泰<sup>3</sup>、吉久徹<sup>4</sup>、田中啓二<sup>3</sup>、Nicholas T. Ingolia<sup>5</sup>、稲田利文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院薬学研究科、<sup>2</sup>理化学研究所、<sup>3</sup>東京都医学総合研究所、<sup>4</sup>兵庫県立大学 大学院生命理学研究科、<sup>5</sup>Department of Molecular and Cell Biology, University of California

#### O-8. 多段階ユビキチン化反応が機能不全リボソームの分解を誘導する

○杉山 誉人、加藤 海輝、池内 健、李 思涵、市村 淳、松尾 芳隆、稲田 利文  
東北大学大学院薬学研究科

#### O-9. Regulatory mechanisms of primary ciliary resorption and cell cycle progression by MAST4 protein

○Sara Ebrahimi Azar, Kensuke Sakaji, Takeya Sato, Masaki Saito  
Dept. Mol. Pharmacol., Tohoku Univ., Grad. Sch. Med.

#### O-10. 一次繊毛形成に関与する Rab の網羅的スクリーニング

○奥山幸生、小口舞、本間悠太、福田光則  
東北大学 生命科学研究所 膜輸送機構解析分野

#### O-11. 久慈産琥珀抽出エキスに見出されたメラニン産生抑制活性とコラーゲン産生促進活性

○鈴木 聡<sup>1</sup>、阿部 純平<sup>2</sup>、白井 誠之<sup>2</sup>、木村 賢一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>（株）実正・統括本部、<sup>2</sup>岩手大学大学院 総合科学研究科

#### O-12. マウス di-N-acetylchitobiase の発現と酵素としての特性解析

○大野美紗

岩手大学 農学部応用生物化学科

12:15~14:00 昼食&ポスター

12:30~13:15 評議員会

14:00~15:00 特別企画 北海道支部セッション

座長：久場 敬司（秋田大学 大学院医学系研究科）

#### 免疫受容体のリガンド認識機構の解明

○古川 敦

北海道大学 大学院薬学研究院 生体分子機能学研究室

#### Caポンプの素過程分子解剖学：

部位特異的変異、速度論、および中間体・遷移状態捕捉による構造-機能連関解明

○鈴木 裕

旭川医科大学 医学部 生化学講座 機能分子科学分野

15:00~16:00 セッション3

座長：安田 純（宮城県立がんセンター）

#### O-13. 食道扁平上皮がんにおける後天的 *Keap1* 欠失の影響

○堀内真、田口恵子、山本雅之

東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野

#### O-14. 非小細胞肺癌におけるエンハンサーリモデリングによる NRF2-NOTCH3 経路の活性化と幹細胞性への貢献

○岡崎慶斗<sup>1</sup>、安澤隼人<sup>2</sup>、北村大志<sup>1</sup>、小野寺好明<sup>3</sup>、Md. Morshedul Alam<sup>1</sup>、松丸大輔<sup>1</sup>、太田奈緒<sup>1</sup>、桜田晃<sup>4</sup>、岡田克典<sup>4</sup>、勝岡史城<sup>5</sup>、山本雅之<sup>5,6</sup>、鈴木貴<sup>7</sup>、木下賢吾<sup>2,5</sup>、関根弘樹<sup>1</sup>、本橋ほづみ<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大・加齢研・遺伝子発現制御、<sup>2</sup> 東北大・院情報・生命情報システム科学、

<sup>3</sup> 東北大・院医・病理診断学、<sup>4</sup> 東北大・加齢研・呼吸器外科、<sup>5</sup> 東北大・東北メディカルメガバンク機構・ゲノム解析、<sup>6</sup> 東北大・院医・医化学、<sup>7</sup> 東北大・院医・病理検査学

#### O-15. 癌関連マクロファージの産生する MMP9 が癌浸潤を促進するメカニズムについて

○伊藤剛、中村華子、佐々木裕都、田中正光

秋田大学大学院医学系研究科 分子生化学講座

**O-16. がん細胞における染色体整列の遅延が染色体分配異常を引き起こす機構**

○國安 絹枝、家村 顕自、田中 耕三

東北大学 加齢医学研究所 分子腫瘍学研究分野

16:00～16:15 コーヒーブレイク

16:15～17:55 特別講演

座長：本橋 ほづみ（東北大学 加齢医学研究所）

**栄養シグナルとステムネス**

○平尾 敦

金沢大学がん進展制御研究所／金沢大学WPIナノ生命科学研究所

**オートファジーの膜動態と生理機能**

○水島 昇

東京大学 大学院医学系研究科

18:00～19:15 (中締め) 懇親会

6月9日(日)

9:00~10:30 セッション4

座長：古山 和道 (岩手医科大学 医学部)

**O-17. ヒスタミン合成酵素レポーターマウスの樹立とリポ多糖刺激に応答して増加するヒスタミン合成酵素陽性好中球の同定**

○高井淳<sup>1</sup>、島田昂志<sup>1</sup>、大津浩<sup>2</sup>、山本雅之<sup>3,4</sup>、上村聡志<sup>1</sup>、森口尚<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北医薬大・医・医化学、<sup>2</sup>適寿リハビリテーション病院、<sup>3</sup>東北大・院・医化学、<sup>4</sup>東北メディカルメガバンク機構

**O-18. コレステロール生合成抑制経路を亢進させたネコ型マウスの作成**

○三浦舞音、片山理恵子、山下哲郎、宮崎雅雄

岩手大学農学部

**O-19. ショウジョウバエ腸管恒常性維持における *tartan, capricious* の機能解析**

○高山 倅輔、倉田 祥一郎、矢野 環

東北大・院薬・生命機能解析学分野

**O-20. インシュリン様ペプチド Dilp8 はショウジョウバエ成虫原基における運命転換現象の新規制御因子である**

○根本和也、増子恵太、布施直之、倉田祥一郎

東北大学 大学院薬学研究科

**O-21. ヘム欠乏マウスは、AMPK シグナル低下を介して、骨格筋でのグリコーゲン合成異常が惹起され、インスリン抵抗性を発症する**

齊藤真一<sup>1,2</sup>、Koen von Wijk<sup>1</sup>、木村朋寛<sup>1</sup>、尾崎司<sup>3</sup>、岡野聡<sup>1</sup>、山本雅之<sup>4</sup>、浅尾裕信<sup>3</sup>、Vincent Kelly<sup>5</sup>、高橋究<sup>6</sup>、田中徹<sup>6</sup>、中島元夫<sup>6</sup>、○中島修<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山形大・医・メディカル研/遺伝情報解析学、<sup>2</sup>山形大・医・免疫学、<sup>3</sup>山形大・医・公衆衛生、<sup>4</sup>東北大院・医・医化学、<sup>5</sup>トリニティカレッジダブリン・生化学免疫学、<sup>6</sup>SBI ファーマ

**O-22. CCR4-NOT 複合体による Atg7 依存性細胞死の阻害と心臓の恒常性維持**

○山口 智和<sup>1</sup>、鈴木 享<sup>1</sup>、佐藤 輝紀<sup>1</sup>、高橋 明格<sup>2</sup>、山本 雅<sup>2</sup>、今井 由美子<sup>3</sup>、久場 敬司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>秋田大学 大学院医学系研究科 分子機能学・代謝機能学講座、<sup>2</sup>沖縄科学技術大学院大学 細胞シグナルユニット、<sup>3</sup>国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

10:30~10:45 コーヒーブレイク

10:45~12:00 セッション5

座長：斎藤 芳郎（東北大学 大学院薬学研究科）

O-23. マウス線維芽細胞 3T3-L1 および白色脂肪細胞におけるヘパラン硫酸の役割について

○松澤拓郎、吉川雄朗、谷内一彦

東北大学 大学院医学系研究科 機能薬理学分野

O-24. 増殖因子刺激による活性酸素種産生性細胞内小胞の生成

○堤 良平

東北大学 大学院薬学研究科

O-25. ネコの個体識別に関わる揮発性のケミカルシグナル同定

○宮崎雅雄

岩手大学農学部

O-26. トランス脂肪酸による DNA 損傷応答促進作用とその分子機構の解明

○平田 祐介、高橋 未来、井上 綾、野口 拓也、松沢 厚

東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野

O-27. アルデヒド還元酵素(Akr1a)欠損マウスにおける持久力および運動時エネルギー代謝調節機構の解析

高橋未来<sup>1</sup>、○本間拓二郎<sup>1</sup>、小林翔<sup>1</sup>、石井直樹<sup>1</sup>、文潔<sup>1</sup>、中島修<sup>2</sup>、藤井順逸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山形大学大学院医学系研究科生化学分子生物学、<sup>2</sup>山形大学医学部遺伝子実験センター

12:00~12:10 奨励賞・優秀論文賞 表彰式

12:10~12:30 優秀論文賞 受賞講演

座長：倉田 祥一郎（東北大学 大学院薬学研究科）

ショウジョウバエ成虫原基の運命転換を制御するヘテロクロマチン制御

○増子 恵太、布施 直之、倉田 祥一郎

東北大学 大学院薬学研究科

12：30～13：00 奨励賞 受賞講演

座長：島 礼（宮城県立がんセンター研究所）

**がんグルコース代謝の新コンセプトに基づいた治療戦略**

○田沼 延公

宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部

13：00～ 閉会の挨拶

## ポスター発表

P-1. 培養ヒト脳微小血管内皮細胞 (hCMEC/D3) における CCL2 の発現と Toll-like receptor (TLR) 3 シグナル

○今泉忠淳、佐々菜穂子、松宮朋穂  
弘前大学 大学院医学系研究科 脳血管病態学

P-2. マウス 3T3-L1 脂肪前駆細胞分化誘導におけるチアゾリジン系薬物の作用機構について

○益見厚子  
青森大学薬学部 分子薬理学

P-3. STK11/LKB1 による Fas 誘導性アポトーシス促進機構の解析

○土田 芽衣、平田 祐介、野口 拓也、松沢 厚  
東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野

P-4. *Sphingobium japonicum* UT26 株の有機塩素系殺虫剤分解に関わる ABC トランスポーターの解析

○尾形拓哉、佐藤優花里、永田裕二  
東北大学 大学院生命科学研究所

P-5. 脱ユビキチン化酵素 Ubp2、Ubp3 による uS10 のユビキチン化修飾の制御機構の解析

○友松翔太、稲田利文  
東北大学 大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野

P-6. 酸化ストレス誘導性パータナトスにおける多機能分子 p62/SQSTM1 の機能的役割

○鈴木 碧、平田 祐介、野口 拓也、松沢 厚  
東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野

P-7. NAD<sup>+</sup>代謝を標的とした卵巣癌への新しい治療戦略

○工藤敬<sup>1,2</sup>、野村美有樹<sup>1</sup>、坂本良美<sup>1</sup>、山田秀和<sup>2</sup>、伊藤潔<sup>3</sup>、八重樫伸生<sup>3</sup>、  
島礼<sup>1</sup>、田沼延公<sup>1</sup>

<sup>1</sup>宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部、<sup>2</sup>宮城県立がんセンター 婦人科、<sup>3</sup>東北大学産婦人科

**P-8. 3'UTRの異常翻訳に対する品質管理機構としての翻訳停滞**

○橋本 怜史<sup>1</sup>、信田 理沙<sup>1</sup>、井澤 俊明<sup>1</sup>、稲田 利文<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大学薬学研究科

**P-9. 細胞内 SAM 濃度レポーターに基づいたスクリーニング系による新規 MAT2A 阻害剤の同定**

○奈良 和樹<sup>1</sup>、石井 悠翔<sup>1,2</sup>、加藤 浩貴<sup>1,2</sup>、島 弘季<sup>1</sup>、五十嵐 和彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大学大学院医学系研究科 生物化学分野、<sup>2</sup> 東北大学大学院医学系研究科 血液・免疫病学分野

**P-10. がん微小環境の Nrf2 活性化による腫瘍悪性化の抑制効果**

○林真貴子<sup>1</sup>、久我有祐美<sup>1</sup>、北村大志<sup>2</sup>、本橋ほづみ<sup>2</sup>、鈴木未来子<sup>3</sup>、山本雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野、<sup>2</sup> 東北大学 加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野、<sup>3</sup> 東北大学 医学部 ラジオアイソトープセンター

**P-11. Fas 誘導性アポトーシスにおける NF-κB の機能的役割**

○横沢 拓海、平田 祐介、野口 拓也、松沢 厚

東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野

**P-12. トリプル四重極質量分析計を用いた筋肉組織中のイミダゾールジペプチド（カルノシン、アンセリン、バレニン）の LC-ESI-MS/MS 定量系の確立**

○上野山怜子<sup>1</sup>、宮崎雅雄<sup>1</sup>、東海林由憲<sup>2</sup>、今野博行<sup>2</sup>、山下哲郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 岩手大学 農学部応用生物化学科、<sup>2</sup> 山形大学大学院 理工学研究科バイオ化学工学専攻

**P-13. GATA2 ヘテロ欠損マウスの炎症反応イメージング**

○島田昂志<sup>1</sup>、高井淳<sup>1</sup>、上村聡志<sup>1,3</sup>、山本雅之<sup>2,3</sup>、森口尚<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北医薬大・医・医化学、<sup>2</sup> 東北大・院・医化学、<sup>3</sup> 東北メディカルメガバンク機構

**P-14. FGF19 による非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）改善の新規分子メカニズム**

○野口拓也<sup>1</sup>、山田真佑花<sup>1</sup>、土田芽衣<sup>1</sup>、平田祐介<sup>1</sup>、宮田昌明<sup>2</sup>、吉成浩一<sup>3</sup>、松沢厚<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野、<sup>2</sup> 水産大学校 食品科学科、<sup>3</sup> 静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学



**P-15.  $\beta$ -TrCP を介した Nrf2 分解の生理的役割の解明**

○久我有祐美<sup>1</sup>、土田恒平<sup>1</sup>、鈴木未来子<sup>2</sup>、山本雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野、<sup>2</sup>RI センター

**P-16. 副腎髄質交感神経系での GATA2 機能解析**

浅香智美<sup>1</sup>、河合佳子<sup>1</sup>、○森口尚<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北医科薬科大学医学部生理学教室、<sup>2</sup>東北医科薬科大学医学部医化学教室

**P-17. 高濃度グルコースによるミクログリア機能異常**

○大塚里奈、飯田智光、吉川雄朗、谷内一彦

東北大学 大学院医学系研究科 機能薬理学分野

**P-18. 虚血によるメタボローム変動を利用した肺癌代謝経路の検討**

○菊池直彦<sup>1,3</sup>、曾我朋義<sup>2</sup>、野村美有樹<sup>1</sup>、千葉祐香<sup>1</sup>、井上維<sup>1</sup>、坂本良美<sup>1</sup>、  
島礼<sup>1</sup>、岡田克典<sup>3</sup>、田沼延公<sup>1</sup>

<sup>1</sup>宮城県立がんセンター がん薬物療法研究部、<sup>2</sup>慶應義塾大学先端生命研究所、

<sup>3</sup>東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野

**P-19. ザゼンソウ SBP1 遺伝子の発熱組織特異的な発現に関する研究**

○谷本 悠<sup>1</sup>、梅川 結<sup>2</sup>、伊藤 菊一<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科、<sup>2</sup>秋田県総合食品研究センター、<sup>3</sup>岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター

**P-20. 酸化ストレスに対する NRF2 活性化履歴モニタリングマウスの作成**

○大石 哲也<sup>1,2</sup>、北村 大志<sup>1</sup>、香取 幸夫<sup>2</sup>、本橋 ほづみ<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科  
耳鼻咽喉・頭頸部外科

**P-21. 自然免疫応答における Spätzle isoform の役割**

○二村 麻莉子、上野 春奈、布施 直之、倉田 祥一郎

東北大学・院薬・生命機能解析学

**P-22. 3 番染色体逆位を伴う白血病の発症機序解析**

○山岡彩香<sup>1</sup>、鈴木未来子<sup>2</sup>、片山紗乙莉<sup>1</sup>、山本雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学・院医・医化学分野、<sup>2</sup>東北大学・院医・RI センター

**P-23. 三次元培養がん細胞に対するモノクローナル抗体の作製**

○添田健太, 横山智哉子

山形大学 大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻

**P-24. 転写因子 Nrf2 の活性化による関節リウマチ緩和効果の検証**

○安達紗希、吉田瑛紀、長沼絵理子、鈴木隆史、山本雅之

東北大学大学院 医学系研究科 医化学分野

**P-25. 2つの類似糖脂質 MPLase と ECA は生合成経路が全く異なる**

○亀本有生<sup>1</sup>、船場菜々香<sup>1</sup>、沢里克宏<sup>2</sup>、西山賢一<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>岩手大・農、<sup>2</sup>岩手連大

**P-26. オーフアン GPCR Mrgb5 が認識する酸化リン脂質の構造解析**

○吉田美沙紀<sup>1</sup>、岸貴之<sup>1</sup>、川名裕己<sup>1,2</sup>、可野邦行<sup>1,2</sup>、三枝大輔<sup>2,3,4</sup>、仲川清隆<sup>5</sup>、  
青木淳賢<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東北大院薬・分子細胞生化学、<sup>2</sup>AMED-LEAP、<sup>3</sup>東北大・東北メディカル・メガ  
バンク機構・ゲノム解析、<sup>4</sup>東北大医・医化学、<sup>5</sup>東北大院農・機能分子解析

**P-27. 細胞内共生細菌 *Wolbachia* によるウイルス抵抗性上昇機構の解析**

○田村友道、布施直之、倉田祥一郎

東北大学 大学院薬学研究科 生命機能解析学分野

**P-28. 小胞体ストレス応答に関与する E3 ユビキチン付加酵素の同定と機能解析**

○中野裕、松木泰子、松尾芳隆、稲田利文

東北大学薬学研究科 遺伝子制御薬学分野

**P-29. 未成熟 27SB pre-rRNA を含む異常リボソームの品質管理機構の解析**

○林涼也、松尾芳隆、稲田利文

東北大学大学院薬学研究科

**P-30. 哺乳類細胞における RQC (Ribosom-associated quality control) の生理的意義と  
分子機構の解析**

○関萌香<sup>1</sup>、宇田川剛<sup>1</sup>、奥山卓<sup>1</sup>、稲田利文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野

**P-31. AhR は神経栄養因子アルテミンを直接誘導しアトピー性皮膚炎における痒み過敏を形成する**

○枝光智大<sup>1,2</sup>、田口恵子<sup>1</sup>、小林枝里<sup>1</sup>、奥山隆平<sup>2</sup>、山本雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野、<sup>2</sup>信州大学 大学院医学系研究科 皮膚科学分野

**P-32. 赤芽球性白血病発症機序における転写因子 GATA1 の役割**

○五十嵐友哉、平野育生、佐々木瞳、清水律子

東北大学 大学院医学系研究科 分子血液学分野

**P-33. 神経系によるショウジョウバエ腸管免疫制御機構**

○石橋謙太郎、鈴木拓朗、布施直之、倉田祥一朗

東北大学 大学院薬学系研究科 生命機能解析学分野

**P-34. 翻訳停滞に起因したタンパク質品質管理機構 RQC の内在性標的 SDD1 の解析**

○中島 静香<sup>1</sup>、水野 雅人<sup>1</sup>、松尾 芳隆<sup>1</sup>、稲田 利文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学大学院薬学研究科

**P-35. 機能欠損型リボソーム品質管理機構 18S NRD における基質特異性の解明**

○庄内王功人、松尾芳隆、稲田利文

東北大学 大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野

**P-36. 機能欠失リボソームの品質管理機構 18S NRD における基質認識機構の解析**

○李 思涵、杉山 誉人、加藤 海輝、池内 健、市村 淳、松尾 芳隆、稲田 利文

東北大学大学院薬学研究科

**P-37. GPCR アゴニスト投与による求心性迷走神経活性化の評価**

○菅野真由<sup>1</sup>、可野邦行<sup>1,2</sup>、佐藤悠喜飛<sup>1</sup>、青木淳賢<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東北大学 薬学研究科 分子細胞生化学、<sup>2</sup>AMED-LEAP

**P-38. 肺線維症急性増悪モデルにおけるリゾホスファチジン酸受容体 LPA<sub>3</sub> の機能解析**

○冬室若菜<sup>1</sup>、可野邦行<sup>1,2,3</sup>、大藤瞳<sup>2</sup>、大前直樹<sup>2</sup>、青木淳賢<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>東北大・薬、<sup>2</sup>東北大院・薬・分子細胞生化学、<sup>3</sup>AMED-LEAP

**P-39. マトリクス DPH を用いたリゾリン脂質イメージング解析**

○岩間大河<sup>1</sup>、可野邦行<sup>1,2,3</sup>、青木淳賢<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>東北大・薬、<sup>2</sup>東北大院・薬・分子細胞生化学分野、<sup>3</sup>AMED-LEAP

**P-40. *simjang*によるショウジョウバエ器官改変頻度の効率化を担う因子の探索**

○山下清文、増子恵太、布施直之、倉田祥一朗

東北大学 大学院薬学研究科 生命機能解析学分野

**P-41. Selenophosphate synthetase 1 stabilizes NRF2 and regulates its antioxidant response pathway**

○Md. Morshedul Alam<sup>1</sup>, Hiroki Sekine<sup>1</sup>, Hozumi Motohashi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Department of Gene Expression Regulation, Institute of Development, Aging, and Cancer (IDAC), Tohoku University

**P-42. BioID(近位依存性ビオチン標識)法を用いたプロテインホスファターゼ PPM ファミリーの相互作用タンパク質探索の試み**

○小林 孝安<sup>1</sup>、菅野 新一郎<sup>2</sup>、安井 明<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北大学 遺伝子実験センター、<sup>2</sup>東北大学加齢医学研究所 加齢研フェロー研究グループ

**P-43. ヒトミトコンドリア・ER膜間コンタクト形成に関与する因子の探索**

○田代晋也<sup>1</sup>、名黒功<sup>2</sup>、遠藤斗志也<sup>3</sup>、田村康<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山形大学院 理学部 理学科、<sup>2</sup>東京大学 薬学系研究科、<sup>3</sup>京都産業大学 総合生命科学部 生命システム学科

**P-44. ERMES 数を制御する分子メカニズムの解明**

○柿元百合子<sup>1</sup>、小島理恵子<sup>2</sup>、新名真夏<sup>2</sup>、遠藤斗志也<sup>3</sup>、田村康<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山形大学大学院 医学系研究科 先進的医科学専攻、<sup>2</sup>山形大学 理学部、<sup>3</sup>京都産業大学 生命科学部

**P-45. MIN6 細胞におけるシンデカン 4 遺伝子の発現制御機構の解明**

○岸承俊、小野泰誠、渡邊大輔、岡崎優、牛抱和也、那谷耕司、高橋巖

岩手医科大学 薬学部 病態薬理学講座 臨床医化学分野

**P-46. シンデカン 4 欠損マウスの耐糖能へのストレプトゾトシン投与の影響**

○渡邊大輔、小野泰誠、岸承俊、岡崎優、牛抱和也、那谷耕司、高橋巖

岩手医科大学 薬学部 病態薬理学講座 臨床医化学分野

**P-47. 求心性迷走神経を制御する新規 GPCR の探索**

○佐藤悠喜飛<sup>1</sup>、可野邦行<sup>1,2</sup>、菅野真由<sup>1</sup>、青木淳賢<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東北大院・薬・分子細胞生化学、<sup>2</sup>AMED-LEAP

**P-48. マタタビ活性物質に対するネコの嗅覚受容機構の解明**

○大宮 萌<sup>1</sup>、上野山怜子<sup>1</sup>、安立昌篤<sup>2</sup>、片山理恵子<sup>1</sup>、宮崎珠子<sup>1</sup>、山下哲郎<sup>1</sup>、  
西川俊夫<sup>2</sup>、宮崎雅雄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科、<sup>2</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科

**P-49. ネコの腎臓尿細管に生理的に蓄積する脂肪滴の組成解析**

○佐藤龍之介、山下哲郎、宮崎雅雄

岩手大学 農学部

**P-50. 致死性心筋症を誘発する薬物性オートファジー障害の分子機構**

○李冠傑<sup>1</sup>、戸田法子<sup>2</sup>、山内正憲<sup>2</sup>、斎藤将樹<sup>1</sup>、佐藤岳哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学 大学院医学系研究科 分子薬理学、<sup>2</sup>東北大学病院 麻酔科学・周術期医学

**P-51. ピルビン酸キナーゼ M2 (PKM2) レドックス制御における Cys 残基翻訳後修飾の解析**

○色川 隼人、沼崎 賢史、加藤 慎、久下 周佐

東北医科薬科大学